

火災によって焼失した笠間保育園の復興を図るため、「笠間保育園応援事業」として寄附金を募集しています。

5月11日（水曜）深夜、笠間保育園から出火し、木造平屋建ての約千七百平方メートルが全焼しました。笠間保育園の園舎は、2013年3月に完成。建材や内装に三重県産のスギをふんだんに使った建物で、同年の木材利用優良施設コンクールでは、林野庁長官賞を受賞するほど美しい保育園でした。県外からもたくさんの方が視察にお越しくださり、9年経った今でも視察希望があったほどです。「子どもたちが触れるもの、すべてに本物を！」をコンセプトに、机、椅子、ロッカー、木の遊具やおもちゃが選び抜かれ、子どもたちの感性を育てていました。木々に囲まれ、裸足で過ごすことができる保育園は、子どもや保護者に愛され、保育園関係者はもちろん地域の皆様からも「自慢の保育園」と、大切にいただいていた。

笠間保育園は、長い歴史の中でたくさんの方が“より良い保育”を学び続けて、現在の保育につながってきました。焼失した園舎は、それまでの保育の蓄積から「子どもにとって最高の保育環境を作ろう！」と、「良い保育園の要素」を追求し、保育士と建設関係者が考え抜いて形にした宝物でした。失ったものが大きすぎて、今は皆、混乱の中にいますが、子どもたちや保護者、職員は「笠間で過ごした経験からわかる良さ」を知っていますので、たくさんの方の知恵を集めて、更に良い園舎を作り上げたいと願っています。

火災のニュースが報道されて以降、たくさんの方から「何かできることがあったらしたい」、「募金をしたいがどうしたらいい？」と温かい御支援の申し出をいただきました。その御厚意は、愛着のある大切な園舎を失い、寂しさ、無念さ、喪失感にさいなまれながらも、子どもたちと保護者の皆様に寄り添い、自分たちが前を向かなければと考える職員にとって、どれほどありがたく、大きなお力をいただいたかわかりません。心からお礼を申し上げます。今後は、一日も早く、「これまでの笠間を超える笠間保育園」を再建できるよう、保育現場、いなべ市関係職員、地域の皆様とともに進む所存です。これまでの御支援に感謝申し上げますとともに、今回、このような形で寄附金の案内を開始させていただきました。今後とも、御協力、御支援の輪を広げていただきますよう、よろしくお願いいたします。

園舎を失った子どもたちは、クラスごとに、他の保育園で保育をさせていただいております。「笠間保育園、見に行く！」「保育園、いつなおるん？」という声に胸が詰まります。遠方への通園となって、保護者の皆様にも多くの負担をおかけしています。離ればなれになっている子どもたちが、一日も早く、笠間保育園のみんなと安心した園生活が送れるように、仮設園舎を設置することから取り掛かり、本園舎再建に向けての準備を進めたいと思いません。

皆様の御協力をお願いいたします。